

## 小さな学校だからできる教育活動の展開



2年生発表の様子

6月30日(水)5校時に、2・3年生国語の研究授業を行いました。

本校の研究テーマは、「小さな学校だからできる教育活動の展開～国語科を中心とした東小かぜのご学習モデルの構築」です。

2年生国語のめあては、「場面の様子を読み取り、声や動きを工夫して読む」

3年国語のめあては、「場面で起こった出来事を1～2文でまとめ、物語の構成を考える」

### 【かぜのご学習モデル】

か～課題をつかみ、見通しを持つ。  
ぜ～絶対解くぞ、自分の力で。  
の～伸びるぞ、みんなで学び合い。  
こ～この振り返り、次に生かすぞ。

このモデルを実践して、子どもたちの学力向上を目指していきます。この日は、ICT機器を効果的に活用し、子どもたちの思考と発表の時間を確保し、子どもたちは、たくさん考え、たくさん発表できました。



3年生発表の様子



その後の研究会では、職員からたくさんの意見が出され、授業をより深く、子どもたちの学力を確実に高めていくための工夫を協議できました。これからも、毎日の授業を改善し、子どもたちに将来を生き抜く本物の学力をつけさせていきます。ご家庭でも、家庭学習の環境整備や励ましなどのご協力をお願いします。

# ICTファシリテータ派遣による校内研修



7月1日（木）午後、熊本県教育委員会、教育政策課、城井指導主事を招いて、本校職員へのICT研修を行いました。

GIGAスクール構想（1人1台の端末と高速通信環境の整備をベースとして、Society 5.0の時代を生きる子供たちのために「個別最適化され、創造性を育む教育」を実現させる施策である。GIGAは「Global and Innovation Gateway for All」の略で、「全ての人にグローバルで革新的な入口を」という意味が込められている。）に基づき、ICTの活用を本校教育活動に、どのように位置づけていくかを研修しました。

これまでも、個別対応できる問題演習（eライブラリ）や、理科で植物観察における写真撮影や総合的な学習の時間における検索機能の利用、音楽で合奏を撮影し、それを見て振り返ることなどの利用や、持ち帰ってGoogle Meetでつながる確認など、様々なタブレット活用をしていますがその他、タブレット端末の効果的な利用の事例や、遠隔交流学习への応用、オンライン学習の実際など、学ぶべきものが多い研修でした。



本校では、6学級、すべての教室で、タブレットを活用した授業が展開されています。すべての職員が、日々努力して、効果的なタブレットの活用で、子どもたちの思考力、判断力、表現力の育成に励んでいます。個別最適化を目指し取り組んでいます。

城井指導主事からの指導、「タブレットはあくまで道具です。この道具を使いこなして学力向上に結びつけてください。」これを忘れず活用に取り組んでいきます。

時代は、大きく変化してきました。インターネットの普及、スマホ、パソコン、ICT機器の活用。これは、子どもたちの将来に欠かせません。子どもたちの将来を見据えながら、これからも、ICT活用に励んでいきます。